

令和7年第2回 国民健康保険運営協議会 議事録

1. 日時 令和7年6月3日（火）18:30～

2. 場所 大牟田市役所 北別館4階 第1会議室

3. 出席者

委員（13人中11人）

被保険者代表 糸川 るり子 委員、梅野 節子 委員、
五本松 恵美子 委員

保険医・保険薬剤師代表 古賀 浩介 委員、松田 宏一 委員、
松本 健太郎 委員、松尾 知幸 委員

公益代表 大迫 孝博 委員、古賀 初代 委員、
寺島 恵子 委員、西山 日出喜 委員

事務局

市民部長、市民部副部長、保険年金課長、保険年金課主査、
健康づくり課長、健康づくり課主査 他

4. 議事事項

議題

（1） 大牟田市市税条例の一部を改正する条例（案）について

報告

（1） 大牟田市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期特定健康診査等実施計画の進捗状況について

（2） 子ども・子育て支援納付金について

議題（1）大牟田市市税条例の一部を改正する条例（案）について事務局より説明を行った。

質疑なし

報告（１）大牟田市国民健康保険第３期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第４期特定健康診査等実施計画の進捗状況について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<質問１>

２. 特定保健指導事業について、６年度の特定保健指導実施率の速報値が４７．８％ということだが、最新の数値は。

（事務局回答）

６年度の特定保健指導実施率の最新値は５１．０％（協議会開催日現在）。

<質問２>

２. 特定保健指導事業について、６年度の特定保健指導実施率は５年度の６２．６％よりも下がる見込みか。

（事務局回答）

５％ほど下がる見込み。特定保健指導実施率が下がった場合は、原因等について今後分析したい。

<質問３>

７年度に新規に導入する計画の特定健診の WEB 受付システムについて、各医療機関で行う特定健診や医師会等が行う集団健診があるが、どの部分が WEB 受付となるのか。

（事務局回答）

基本的には集団健診が対象となる。地域健診や保健センターで行っているもの、米の山病院と済生会病院での集団健診、大牟田みんなの健康展で実施する分が対象となる。

<質問４>

１. 特定健康診査事業について、７年度はＡＩを活用した受診勧奨の表記を一部修正とあるが、一部修正はどういった内容か。

（事務局回答）

ＡＩを活用した受診勧奨は、受診勧奨の文面が全部で６種類あり、対象者によって送る文面を変える。かかりつけの病院でも受診ができるということや医療機関の情報等を記載する予定。

医療機関の情報を載せることで、医療機関に行くことに対するハードルを下げるができると考えている。

今後、医師会と調整をし、進めたい。

報告（２）子ども・子育て支援納付金について事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<質問１>

子ども子育て支援納付金は事業主と被保険者が折半するという情報を見たが、そうか。

（事務局回答）

社会保険等ではそうだと思われる。

国は子育て支援納付金の徴収について、国民健康保険のほか後期高齢者医療保険、社会保険、共済組合等の全医療保険で令和８年度から段階的に徴収し、令和１０年度には約１兆円徴収するとの見込みを立てている。そのうち国民健康保険で徴収するのが約３０００億円と言われている。

今後、県が示す保険税率や納付金等を元に本市の子ども子育て支援金分の税率を試算し、例年２月議会の前に開催している本協議会でお示しし、２月議会で市税条例を改正したい。

<質問２>

資料２ページ目の２．（２）の「均等割額については、１０割軽減の措置を講じる」という部分について、具体的には１ページ目２．（１）《参考》の一人当たりの平均月額２５０円（令和８年度見込み額）がどうなるのか。

（事務局回答）

高校生以下の子どもの均等割が０円となる。

<質問３>

医療保険から全員一律に引かれると聞いたが、それが引かれなくなるといふことか。

（事務局回答）

社会保険等のことと思われる。

国民健康保険の場合、現行では子どもも均等割額が必ずかかるが、子ども子育て支援金分に係る均等割額については１８歳以下の子どもは１０割軽減されて０円となる。

その他として、令和６年度大牟田市国民健康保険特別会計決算額（速報値）について事務局より報告を行った。

質疑なし

＝運営協議会閉会＝